

取組の概要

取組の概要 : 酒米とう精施設の整備による酒造好適米「山田錦」の需要拡大とそれに応じた生産拡大

計画作成主体 : あぶらんど萩地域農業推進協議会

対象品目 : 水稲（酒造好適米:山田錦）
（産地面積:54ha）

主な取組主体 : 萩酒米みがき協同組合

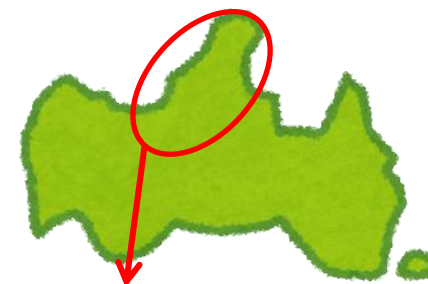
成果目標 : 販売額の10%以上の増加

助成金の活用 : 整備事業（農産物処理加工施設）
状況

ポイント

- 萩・阿武地域産「山田錦」に対し、地元酒造会社から需要が拡大しているところ。
- 従来、とう精施設のある他地域へ米を輸送していたが、自らとう精施設を整備することにより、「山田錦」増産へ対応するとともに、コスト低減を図る。

地区の概要



山口県
萩市・阿武町

産地の現状と目標

酒造好適米「山田錦」の生産拡大による販売額の増加

〈現状 : H27年度〉

作付面積 : 30.4ha
販売額 : 97,857円/10a

〈目標 : H31年度〉

作付面積 : 54.0ha
販売額 : 128,880円/10a



推進体制

取組主体、地域の関係者（山口県萩農林水産事務所、萩市、阿武町、あぶらんど萩農業協同組合、生産者、酒造会社）が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ①主食用米から「山田錦」への転換による生産拡大と重点指導による単収向上。
- ②生産者ごとの品質評価のフィードバックによる栽培技術の改善による高品質化。

事業効果

萩・阿武地域産の「山田錦」の需要が拡大しており、増産に対応した酒米とう精施設を整備することにより、需要に応じた生産を可能とし、産地の収益力を図る。

～販売額～

